

日野市立保育園給食調理業務の委託化に関する保護者説明会 要点録

開催日時：2025 年 11 月 14 日（金）17：30～18：15

開催場所：おおくぼ保育園

出席者：保護者 5 名、木暮課長、田野倉副主幹、堀口

質問・意見

Q1：令和 9 年度に正職・再任用職員が 1 園あたり 2 人を確保できない理由は。

民営化の印象が良くない、正規職員が長く活躍してこそ、いい給食を提供できると思います。民間企業は営利目的なので、委託の目標である「安全で美味しい給食を安定的に提供すること」と一致しないのではないのでしょうか。

A1：2 人が確保できない理由は、今後、他の公立保育園を民営化していく中において、新たに現業職である調理員の新規雇用をしていないことや、普通退職者等が増加したことによるものです。

民間事業者であっても、園児により良い給食を提供する事業者をプロポーザルで選定し、契約額は公契約条例（※）に基づき適正な金額になるよう配慮しながら、委託事業者には厳しく監督し給食の質を維持し、委託の目的を達成します。

※自治体が公共工事や業務委託を発注する際に、従事者の賃金水準や労働条件の最低ラインを契約内容に盛り込むことを定めた条例です。これにより、適正な労働環境の確保や公共サービスの品質向上、地域経済の活性化を目指します。

Q2：家で野菜を食べなかった子どもが、美味しい給食を食べたことで野菜を食べることができたので、引き続き今の体制が維持できるよう正規職員の採用を検討してほしい。

A2：職員にとってありがたいご意見を頂き感謝します。公務員の正規職員でなくても給食の質が担保できる事業者を選定し、これまでと変わらない給食が提供できるよう努めていきます。

Q3：委託業務の作業範囲が今後広がることはありますか。

A3：現時点で、拡大は考えていない。

Q4：アレルギー対応など安全な給食をいただいています。民営化になっても引き続き安全な給食の提供はできますか。

A4：民営化を行った後でも、安全で安心な給食が提供できるよう保育園栄養士、保育課栄養士が委託事業者を指導監督していきます。

Q5：オーガニック給食への対応はありますか。

A5：オーガニック給食について、まずは栄養士が学んでいきたいと考えています。なお、これまで日野市の保育園給食で培ったノウハウをしっかりと委託事業者に引継ぎ、先ずはこれまでと同様に質の高い給食を提供できることが大切と考えています。

園児には安全な給食を提供するよう、これからも国産のものを中心に使用し、食中毒の予防に努めていきます。

Q 6 : 事故が発生した場合、責任の所在はどこになりますか。

A 6 : 事故の内容や経緯によっても責任の所在は変わりますが、最終的な責任は事業主の日野市であると考えています。事故は発生しないよう注意してまいります、発生時には市は保護者への情報提供や再発防止策の徹底など責任をもって対応に当たります。

Q 7 : 献立の作成や食材の発注が今まで通りと聞いて安心しました。

A 7 : 食材は今まで通り市が業者に注文し、市の栄養士が献立を作成します。

Q 8 : 委託事業者はどのような事業者ですか。また、その職員の紹介はありますか。

A 8 : 保育園で給食調理の実績がある事業者を選定します。また、給食調理員も園児と保護者の皆様ととても多く関わりをもちますので、委託事業者の職員であっても保育園の職員と同じように皆さんに紹介します。

Q 9 : 委託事業者選定委員会への出席は

A 9 : 事業者を選定するための委員は、専門的な知見のある栄養士等を構成員とする予定ですが、保護者の方がどのようにかかわるかなど、アンケートによりご意見を頂く予定です。